

子どもの意見表明・意見反映の機会の創出について

【経緯】

・こども家庭庁は令和 6 年 3 月に、各府省庁、地方自治体職員向けに、子どもの意見を聴くための企画から、政策に反映するまでの一連のプロセスを実施する際の留意点や工夫、事例をまとめた「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」を作成し、地方自治体職員による子どもの意見聴取を促しています。

・本市でも、第 5 次夢育て・たちかわ子ども21プランの「取組の方向性」に、「④子どもの意見表明・意見反映の機会を創出します」として掲げています。

また、立川市長期総合計画の基本事業として「子どもの権利尊重の視点に立った政策の推進」を掲げ、子どもが意見表明を行う場を創出していくことを示しています。

【グループワークの目的】

これまでの第 5 期推進会議での議論をもとに、子ども・若者の意見を表明するテーマを検討し、様々な政策の中で意見を反映する場を創出していくための基礎資料を作ることを目的としています。

子どもに聴いてみたいテーマや【子どもに意見を聴く】【子どもの意見を反映する】ということへのイメージなどをグループワークで話し合ってください、発表していただいた内容を資料として活用していきます。

【グループワークでの作業について】

- ① 最初に、「こども★若者いけんぷらす」の活動報告書やフィードバック資料を見る時間を取ります。2 分
- ② 次に、ご自身で日頃感じている「こんな時には、子ども達だったらどう思うかを聴いてみたい！」ということや、「【子どもに意見を聴く】と言われるとこんなことを思います」という感想やイメージを考えていただき、付箋に記載してください。
どの年齢に聴きたいか、なども記載して OK です。
子ども委員の方は「こんな時には子どもの意見を聴いてほしい！」でも OK です。6 分
- ③ 各グループで、付箋をもとに感想等を共有してください。10 分
- ④ 付箋に書かれた内容を、似たようなものをまとめるなど、仕分けを行ってください。10 分
- ⑤ 時間になりましたら、各グループの代表の方から、どういうテーマやイメージがあがったかの発表をお願いします。(時間内であれば、複数人の発表も OK です)4グループ
×3分=12 分

大切な視点 「子どもや若者が意見を表明する」としたら…という視点で話し合いをお願いします。

令和7年9月8日 夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議

子どもの意見表明・意見反映の機会創出

グループ分け一覧

目的	グループ	メンバー(名簿順・敬称略)
子ども・若者の意見を表明するテーマを検討し、様々な政策の中で意見を反映する場を創出する。	A	金子 恵、山口 聡、伊東 祐也、 山中 ゆう子、坂下 香澄、大口 泰朗、松村 咲、
	B	田野倉 宏美、平野 静香、米原 立将 小松 佳世子、安部 希美、末平 乙綺
	C	中嶋 弥生、小畑 くるみ、永田 ゆかり、 土方 崇、秋山 俊、水城 優子、佐藤 蓮太郎
	D	大橋 暉弘、樋口 睦子、景山 千鶴子、 佐藤 米子、北島 宏晃、鉤 賢太郎、飯野 心咲、

・ファシリテーター役、書記役などは決めていませんので、各グループで積極的にご意見を出し合ってください。

・最後に発表する人を、各グループで決めてください。

(テーマの例)

- ・立川のまちで、好きなところは？ (まちづくりの分野 全年代を対象に)
- ・自分のココロ・自分のカラダ (健康・いのちの分野 〇歳くらいを対象)
- ・働きたい会社ってどんなところ？ (仕事の分野 対象年代は高校生)
- ・使いたくなる居場所って？ (施設等居場所の分野 〇歳くらいを対象)